

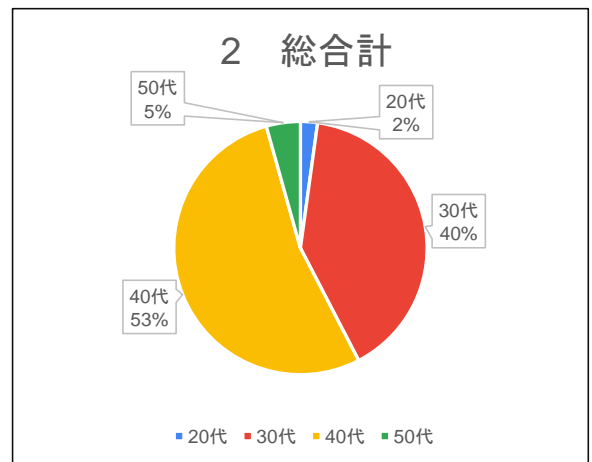
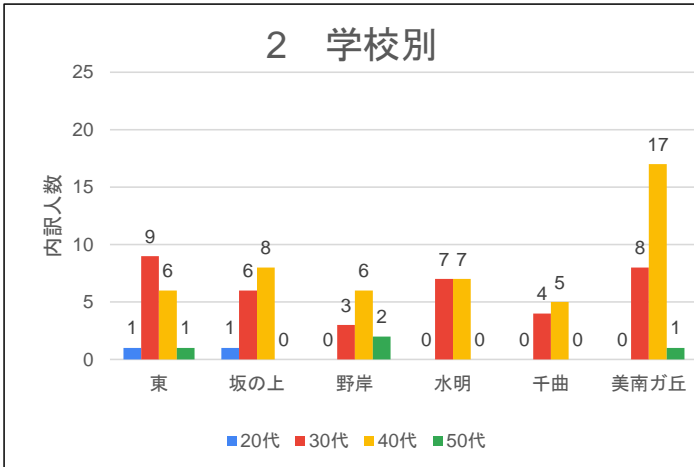
# 学校教育審議会答申に関する意見募集アンケート結果について

総回答数	92
------	----

## 1 記名の有無

記名者数	あり	49
	なし	43

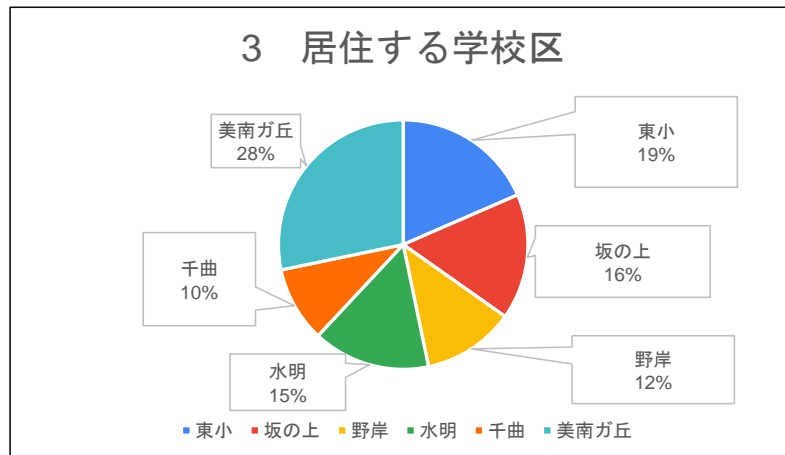
## 2 年齢



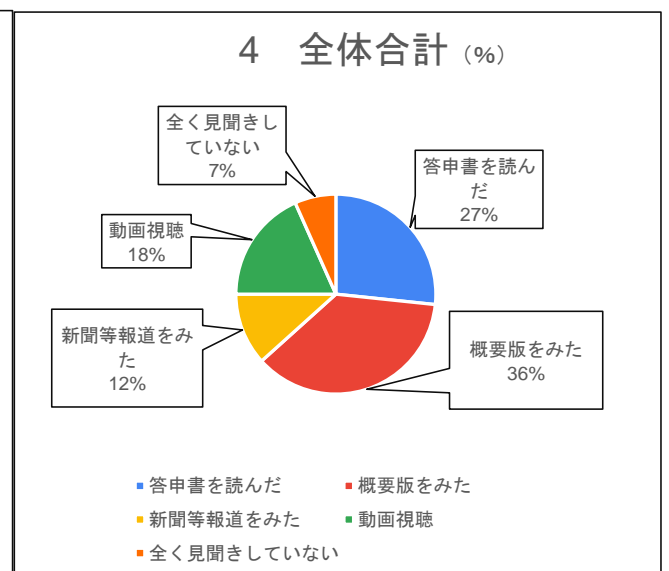
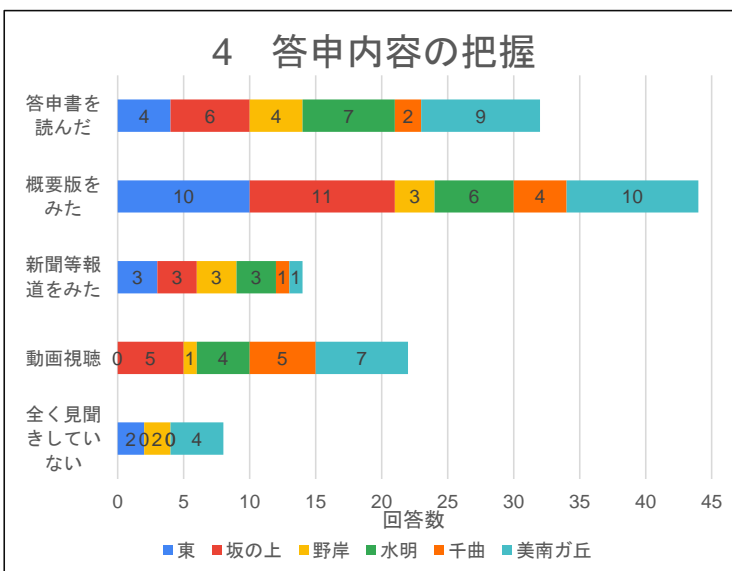
## 3 居住する学校区

(回答数)

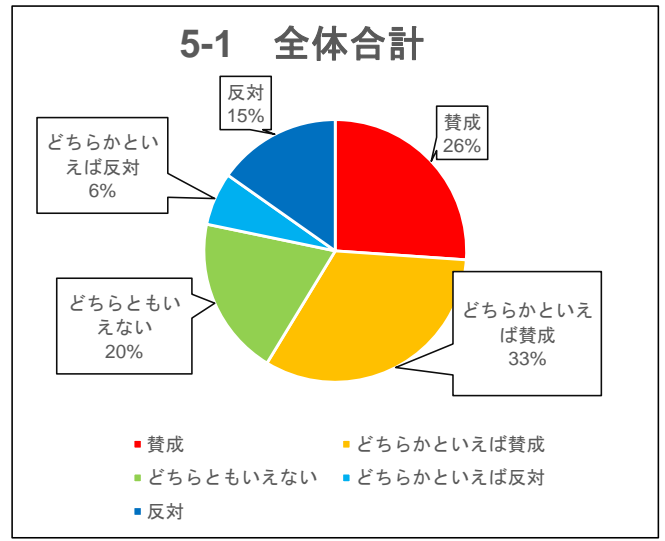
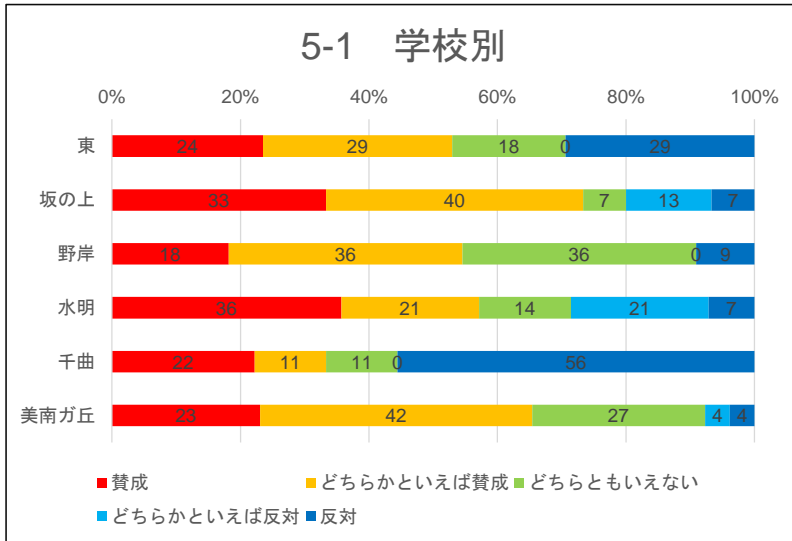
東小	17
坂の上	15
野岸	11
水明	14
千曲	9
美南ガ丘	26
市外	0



## 4 学校再編・改築に関する答申はご覧になりましたか(複数回答可)



### 5-1 中学校を学区とした併設型小中一貫教育を進めることについて

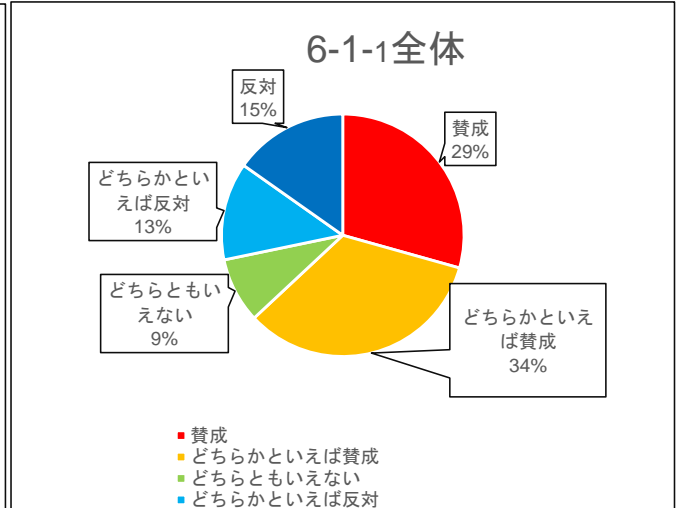
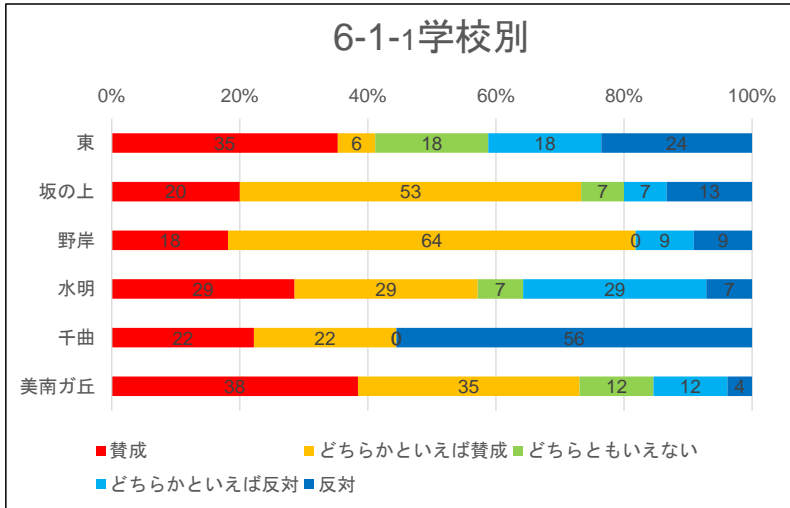


### 5-2 選択した理由や意見

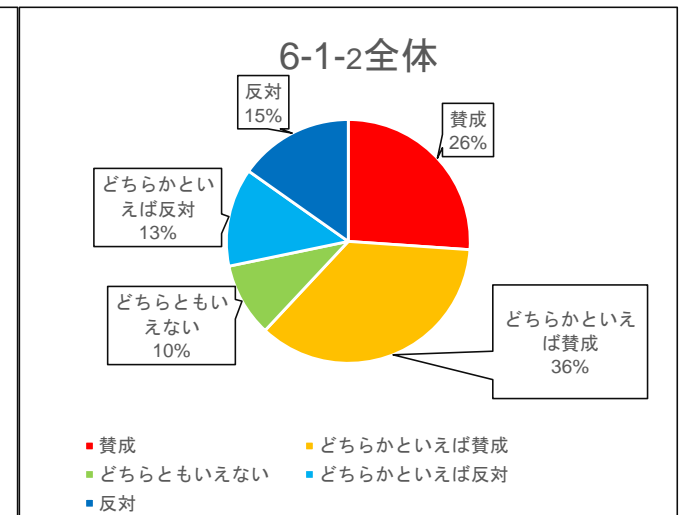
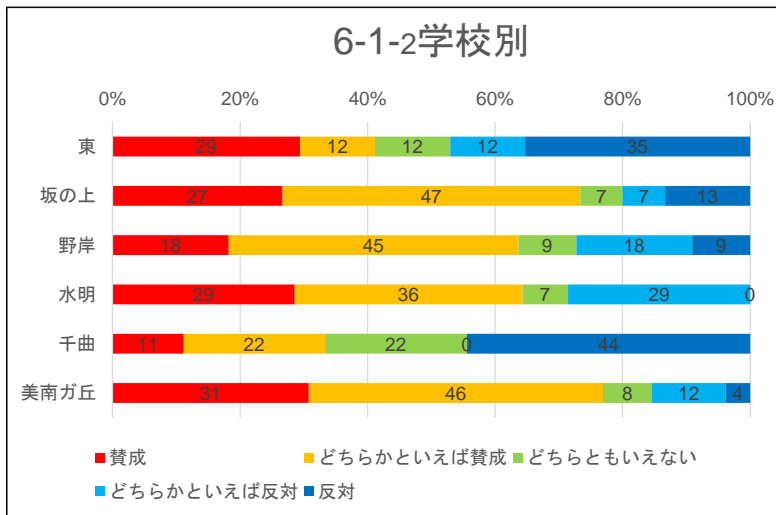
賛成	児童数が少なすぎるので。(水明・40)
	色々な子と同じ学校で学んでほしい(坂の上・40)
	様々な場面で、異年齢で学びあえる機会がつかられ、友だちと比べてできるできないといった競争意識から解放され、様々な人間関係と発達差のある中で、本来の自分でのびのびと自己を発揮できる環境が整うと考えるため。(水明・30)
	効率的(美南・40)
	千曲小には、知的障害の子の特別支援教室がなく市内の小学校に転校したため、特別支援教室がある学校と合併するから。(千曲・40)
	中学校のが近いし、兄弟で中3まで一緒に通えるから。(東・40)
	人数が少なく行えない行事も出てきている(野岸・40)
	千曲小学校は人数が少なすぎる為、統合してより大人数での集団生活を身に付けさせたい(千曲・30)
	学年に関係なく、学力に合わせた教育を行うと良いのではないかと。学年やクラスにとらわれない学校にしてもらいたい。発達障害の子も増えているため、それぞれ伸び伸びと授業をうけられるようにしてもらいたい。(坂の上・30)
	ずっと安心して義務教育を同じところで受けれることは環境としてとても学びやすいと思う。(水明・40)
どちらかといえば賛成	今後の少子化を鑑みれば、賛成以外の答えがあるとは思えない。反対という人間は「ではどうすれば良いのか」という対案とその未来図をエビデンスを持ってしっかりと説明するべきである。(坂の上・40)
	少子化なのでしょうがない 新しい学校は子供達嬉しいと思う(美南・30)
	時代によって変化していくべきと思うので(水明・30)
	少子高齢化、人口減少によるリソースの減少、施設維持や人材確保の点からも再編によるリソースの集約が必須であると思います。小中一貫性あるカリキュラム、教科担当制の採用等連携することで、人手時間の確保、魅力ある学校、豊かな環境と教育。併設型として施設の部分共有による将来的な施設維持管理のコンパクト化。「街」から孤立しない立地、学校と地域がパートナーとして連携、協働できるようになるのが理想です。児童減少し税収が減った時に、貴重な人材、施設をどう維持管理活用していくのかという事を考えます。(坂の上・30)
	これまでの議論の中に20~30代の参加はあるのでしょうか？将来において実質的に当再編計画の結果に対し責任を負うことになる年齢層こそ計画に参加すべきであると思います。土地の条件を満たすなら義務教育学校が理想ですが、現時点での芦原・小諸東両中学校校舎の築年数から併設型一貫校の採用はやむを得ないと考えます。その場合あくまで暫定的なものとし、審議会でも意見が確認できましたが、中学校校舎の寿命が予測される段階において時間的余裕を持って併設型一貫校と義務教育学校の再検討は必要です。学校や学級の規模に関しても、現行の制度が存在する以上その制度の範囲内で最大限の効果を得る規模にするほかなく一貫教育校化は必要であると考えます。一方で、情報技術の進化や不登校児の増加等、現在の学校制度そのものが社会情勢から乖離しつつあると感じています。学級規模も先進国では25人から20人前後に減らしながら収束し、日本は紆余曲折を経て競争力を失う段階になり他国に追従するというのが、教育分野に限らない国全体としての傾向です。国との道連れを回避し地域社会を存続させるためにも常に先の流れに感度高く備えてほしいです。(坂の上・30)
	少子化が進むことから、そうした施策も必要(東・40代)
	子供の人数が減ってきているから、仕方がないと思います。(水明・40)
	人数が少ないなら一緒にしてもいいと思う。
	基本的に賛成なんですけど、そんな敷地と予算が有るのかなと思います。送迎の時間は、大渋滞覚悟になると思います。(美南・40)
	小学校で他の学年との交流があり良いと感じた。ほぼ同じメンバーが中学に行くので、併設型で交流が続くのは良いと思う。(美南・40)
学校数と児童数が合わないのでも 全ての校舎が老朽化しているなかで、建て替えの費用がかかりすぎる懸念。(美南・40)	
残念ながら児童数の推移が継続して望めない地区も出てきている内容の結果を拝見した。編成案に賛成せざるを得ないと感じた(千曲・30)	
少子化に伴い、児童数が減少してきているため(野岸・30)	

どちらともいえない	馴染めない子供がいた場合の対処法は難しいから(野岸・40)
	オンラインでの勉強もすすめてみては?(美南・30)
	各小学校を統一するにあたり新たな小学校の場所や現在の小学校はどうなるのか。新小学校になった場合の通学手段などの疑問がある。(東・30)
	一貫教育の方が良いと判断出来るほどの情報がない(東・40)
	「併設型」などと定義も素人には分からない専門用語をアンケートに使用する事がまず疑問です。すでにこの先が決まっていて、「アンケートを取って市民の意見を聴取した」という既成事実を作る為に私たち市民が利用されている感じがして悲しいです。(坂の上・40)
	どうして小中一貫教育を推進することになったのかを知りたい。(地元の新聞を読んでいないのでわからない)(野岸・40)
どちらかといえば反対	少子化、学校の老朽化など理由は理解できるが、小規模校の良さもあり、児童数が多いほど、学校独自の特長やまとまりが無くなるのではとも思う。より地域との連携が必要(美南・40)
	中学校入学のときにまた人間関係等色々なことをリセットして始めたいという児童もいるとおもうので、必ずしも小学校からの続き感を強めることがいいこととは限らないかもしれないと思うので。(美南・30)
反対	小学校はやはり自宅の近くにあるべきなのではないか。安全面から(水明・30)
	不登校児が登校するきっかけがなくなる(美南・40)
	多くの仲間ができにくい(坂の上・40)
	9年間同じ校舎に通うのは閉塞感がある。小・中・高卒業の区切りが子供の成長に繋がると思う。(水明・40)
	9年間同じ環境なのは、つまづいた時に外の世界が見えにくくなりそう。(千曲・40)
	小規模でも充実し目の届く教育を希望するため(坂の上・40)
	・生徒が増えれば先生の目が行き届かなくなるのではないか。 ・学校まで遠くなる子はバスになるのか?
	小中は体力強化的問題等からも歩いて登下校してほしい。(東・30)
	小中一貫教育は9年間うまく友達等とやっていける子には良いと思いますが、学校が合わず辛い子には苦痛でしかないと思います。(千曲・40)
	登下校変更に伴う子供と親への負担。バスや車になった場合の運動不足、実践欠如による交通意識の低下。(水明・40)
学区が広すぎることの弊害をもっとがんがえるべきである(千曲・30)	
小規模校化が専科教員不足を招くとあるが、小学校において専科教員を増やすメリットより生徒数が増える事のデメリットの方が多しと考える。生徒数の増加は教員の労働負担の増加ははもちろん、一人ひとりの生徒と向き合った教育や多様性の維持が難しくなり教育の質は落ちる事になる。私の子供時代は小学校でも800人以上の生徒がおり、1クラスで40人を超えていた。人数が多すぎて色々な教科で順番待ちが常にあり効率も教育の質も悪かった。 また、統合すると言う事は当然学区も広くなり送迎等の親の負担も増加する。コロナ禍で景気も悪く色々な負担が増えているなかで統合を進めるのはデメリットの方が高く、また生徒数が増加するということは集団感染のリスクも上がる事と言う事である。 ソーシャルディスタンスの観点からしても統合は進めるべきではない。(千曲・40)	
野岸と東を一緒にするのはおかしい(東・30)	
通学が遠くすぎて大変だから(千曲・40)	

6-1-1 中学校を学区とした小学校再編について [芦原中学区再編(3校を1校に統合)について]



6-1-2 中学校を学区とした小学校再編について [小諸東中学区再編(2校を1校に再編)について]



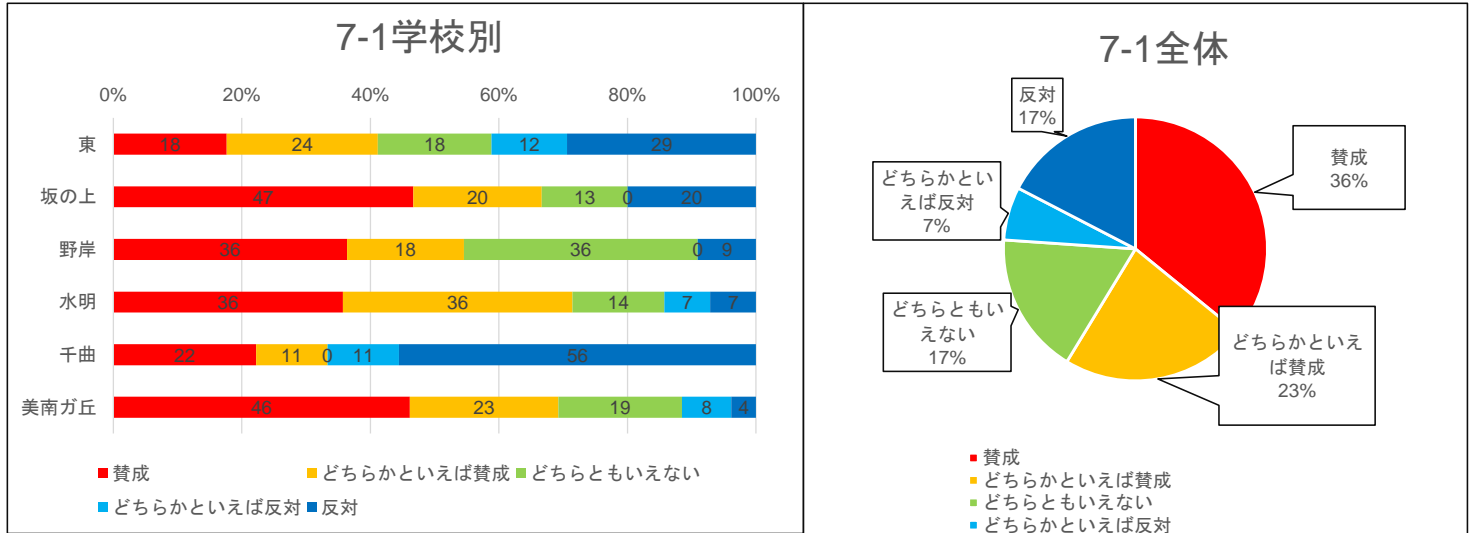
6-2 選択した理由や意見 (順不同)

賛成 (6-1-2 回答者)	人数が減っているのではない。老朽化でそれぞれ直していくより新しいの一つにまとめたほうが良いと思う(美南・30)
	各学年のクラスが少ないより、3,4クラスあった方が良く感じる。クラスの相性などもあると思うので、臨機応変に移動することも可能であれば良いと思う。(美南・40)
	小諸地区はいくつも小学校があるのでこれからの少子化を考えたら統合する方がいい気がする。(東・20)
	現実的だと思います。学区の広域化に伴う巡回バス(低炭素化)、通学路、動線の確保を万全に。それに付随したセーフティーゾーンや市街地、住宅地の道路の見直しや整備ができればさらに。(坂の上・30)
	千曲小には知的障害の子の特別支援教室がなく市内の小学校に転校したため、特別支援教室がある学校と合併するから。(千曲・40)
	友達もバラバラになったりするより良いと思う。(水明・40)

<p>どちらかといえば賛成 (6-1-2 回答者)</p>	<p>今後を考えると再編せざるをえない。が、少人数だからこそ、一人一人に目を配っていただけたり、運動会や発表会で活躍の場が多く設けられていた等のメリットがなくなってしまうのはもったいない。(千曲・30)</p> <p>徒歩で登下校できるか出来ないかの差。(水明・40)</p> <p>野岸と東を統合するのはいいと思います。でも野岸に新校舎を建てたばかりなので、こちらを使うのなら賛成です。中間くらいに新しく校舎を建てるのなら反対です。(野岸・40)</p> <p>中学でも友達と過ごしやすい(野岸・40)</p> <p>立地的考えると、そういった統合が望ましいと感じたから。(水明・40)</p> <p>校舎を再建するにあたり、少子化もすすむため、統合はいいと思います。ですが、生徒が伸び伸びと生活できる様な、場所の確保や先生の確保、アイパッドの導入。また学年を問わず、学力に合わせた学習も考えて欲しい。(坂の上・30)</p> <p>子供の人数を考えると仕方がないと思います。(美南・40)</p> <p>小諸市に小中学校を一つずつにしてマンモス校化するというのもおもしろいとは思いますが、土地や通学をどうするかの問題は難しいと思う。(坂の上・40)</p> <p>少子化を考慮した結果その方がいいと思う(美南・30)</p> <p>児童数の減少や少規模校化によって、教職員不足で他の地域との教育の質の差が出る事が心配。ある程度の児童数で、望ましい学校の規模を維持するのが良いのではないかと思う。(美南・40)</p> <p>芦原中について、学区が広く小学校への登校が困難になると思われる(美南・40)</p> <p>子どもの人数が減っているから学校の数減らしてもいいと思うが、子ども達が通うのが大変にならないかだけ心配。(坂の上・30)</p> <p>芦原中学校区は狭いため。(美南・40)</p> <p>通学区域が広くなり、登下校が心配。かといって、バス通学等の場合、子供達の体力低下も心配。(美南・40)</p> <p>児童数や地区の割り振りから考えると、上記のような再編になるのかなあと思ったので。(野岸・30)</p>
<p>どちらともいえない(6-1-2 回答)</p>	<p>各小学校を統一するにあたり新たな小学校の場所や現在の小学校はどうなるのか。新小学校になった場合の通学手段などの疑問がある。(東・30)</p> <p>芦中、東中からそれぞれ何m以内に新小学校を配置するのが望ましいのか、具体的な距離を示してもらわないと評価をする事が出来ない。仮に隣接地に建設するとしたら実現可能性は限りなく低いでしょうから。(坂の上・40)</p> <p>小規模学校には小規模の良さがあると思います。今回のコロナなどのまん延も大規模よりは防げると思います。勉強の遅れも少人数だと一人一人ていねいに見て頂けるので安心です。専科教員の負担は確かに大きいと思いますが、定年された先生方も現役で働いていらっしゃるのこのままが良いです。(千曲・40)</p>
<p>どちらかといえば反対 (6-1-2 回答者)</p>	<p>勉強はオンライン、友だちはオフラインという枠組みでいいのでは？地区という概念をやめてみては？(美南・30)</p> <p>報告会のお話などを聞かせて頂き、大変勉強になりました。どの学校も地域の方たちが協力してお金をだしあい作ってくださった大切な学校だと感激しました。</p> <p>望ましい学校の規模といった点で、是非プラスに捉えて頂いて一校でも少人数をいかしたイェナプラン・スクールを検討して頂けないでしょうか。佐久穂町の大日向小学校をはじめ、公立小でも広島県福山市で常石小学校が2021年度より少人数を生かしたイェナプラン教育をはじめています。異年齢集団を基本単位として「対話」「遊び」「仕事(学習)」「催し(行事や祝い)」の4つの活動を基本に子ども一人一人の個性を尊重しながら自立と共生を学びます。教室をリビングルームとして捉え安心して過ごせる環境の中で新しい教育の形を希望する子が市内全域から通える学校です。私も一教員ですが、教員の多忙化、孤立化。また一生懸命に教えても人数が多いために定着しづらい現実や学級王国になりがちな教員の世界に新たな息吹きを吹かせてほしいと思っています。コミュニティスクールの実践の充実も大変共感しました。学校が地域の学校となり教員の役割が教えるからコーディネーター的な役割になっていくことを望みます。(水明・30)</p> <p>芦原中学区再編では、反対はしませんが。。いまの芦中の所に統合させると千曲や坂ノ上小学校の子は通うのが大変ではないでしょうか？小諸東中学再編も野岸の子達は、通学区が広くて東中まで坂道で大変ではないでしょうか？あと、中学に入って何が楽しいか。新しい友達に出会えて楽しいのに。。9年間クラス替えはあれど、寂しいような気もします。(水明・30)</p> <p>芦原中学はよくわからない(野岸・40.)</p> <p>どこに小学校を作るのか?今でも歩くのが遠いのにまた更に遠くなると考えると...歩く事によって体力、遊び、ルール等考える力がつくと思うので、歩いて行ける範囲だったらいいと思う(東・40)</p> <p>統合されることにより、住む地域によって小学校から遠くなると子どもや保護者は不安ではないか。吹奏楽やそれぞれの学校の良い部分が継承されていけるのか心配である。(野岸・40)</p> <p>通学が大変そう(坂の上・20)</p> <p>小学校時代は小規模で丁寧教えてあげて欲しい。(水明・40)</p> <p>範囲が広すぎて通学する児童の負担が心配。すでに、長い距離を徒歩で通う児童をがいて、心配だし、かわいそうに思うときもあります。スクールバスの範囲を4キロといわず、もっと短い距離から導入してほしい。(美南・30)</p> <p>人数が多すぎても色々な面での対応が難しくなると感じる。その学校の良さがあり改善すべき所もあると思う。現在、小2の娘が通っていますが学習面でも今の人数で先生方の目が届くので満足している。小学校から中学卒業まで同じメンバーになることで万が一いじめなどがあった場合の対応はできるのかどうか。とくに女の子はグループ等を作るので(水明・30)</p>

反対 (6-1-2回 答者)	まずは、1学級を30人学級にしてほしい。教室が密で、目も行き届かず、教育が行き届くか不安。そして、1学年が2クラス程度の方が、教員全体で子供たちの特性等を把握し、よりきめ細やかな教育が出来る。すべての学年が1クラスになってしまうようなら、再編も考えるが、再編して、3クラス、4クラスもあるような学年ができてしまったらせっかく小諸のきめ細かな教育が行き届かない。マンモス校は反対。(坂の上・30)
	・生徒が増えれば先生の目が行き届かなくなるのではないか。・学校まで遠くなる子はバスになるのか？ 小中は体力強化的問題等からも歩いて登下校してほしい。(東・30)
	バス通学も大変だし、学校の行事で運動会とか全校の親が来る場合狭くて大変そう。野岸は校庭が狭く感じる。 子供の数がすごい減って1クラス位の人数になったら統合とかなら問題ないと思う。(東・40)
	小規模校化が専科教員不足を招くとあるが、小学校において専科教員を増やすメリットより生徒数が増える事のデメリットの方が多しと考える。生徒数の増加は教員の労働負担の増加ははもちろん、一人ひとりの生徒と向き合った教育や多様性の維持が難しくなり教育の質は落ちる事になる。私の子供時代は小学校でも800人以上の生徒がおり、1クラスで40人を超えていた。人数が多すぎて色々な教科で順番待ちが常にあり効率も教育の質も悪かった。 また、統合するという事は当然学区も広くなり送迎等の親の負担も増加する。コロナ禍で景気も悪く色々な負担が増えているなかで統合を進めるのはデメリットの方が高く、また生徒数が増加することは集団感染のリスクも上がる事と言う事である。 ソーシャルディスタンスの観点からしても統合は進めるべきではない。(千曲・40)
	学校までの距離が遠くなる子が出る(東・40)
	野岸と東を一緒にするのはおかしい(東・30)
	ちゃんとした教育出来る環境になるか心配(千曲・40)
	小さい頃は、少人数の学校に通わせたい。(千曲・40)

## 7-1 小学校の再編を速やかに進めることについて



## 7-2 選択した理由や意見

	<p>人数の問題で行えない行事などがある(野岸・40)</p> <p>できれば子供が小学校に入る前に(もしくは低学年のうちに)統合してほしい。 →千曲小学校から行く側からするといじめなどが心配だから(千曲・30)</p> <p>人数が少ない中、中学校に行き人数が極端に増え、環境に馴染めない可能性があるため。また、多くの人との意見交換の場が少なくなる。(坂の上・30)</p> <p>もしやるなら速やかにやるべきだと思います。ダラダラ時間をかけても良いものは出来ないと思うので。(美南・40)</p> <p>やるなら早い方が良い(水明・40)</p> <p>愚図愚図して良いことはない。(坂の上・40)</p> <p>人数が少なすぎるとできない事もある。3校になればまとまりやすい、先生の仕事量も同じくらいになるのでは?(美南・30)</p> <p>まとめる事で、先生の不足も緩和できるような良いと思う。(美南・40)</p> <p>校舎の老朽化が顕著。(美南・40)</p> <p>速やかに一は、早く新しくそこそこのガワを作れる所に作ればという事ではなく今後50年先の事を想定した、学校を含む街全体をどうしていくのか?を現在のこの段階から包括的に考えていく必要があると考えたからです。 再編し新しく建設した校舎の施設としての維持、例えば人口が減り税収が減った時大きなハコはどう維持するか。 体育館の貸出(有料、無料)、市内中高共有の屋内プール(専門指導員の教科担当による中高一貫の連携、人材確保、通年使用、施設維持管理の集約)を夜間土日は市民に解放する(健康支援による医療費の削減、施設維持のための市民利用)市内での買い物や用事の動線に繋がる場所、など第二の(複数の)利用価値をつけること、そして点でなく繋がりのある立地、長い目で見て市として価値のある施設(街の魅力の要素としても)として維持できたら理想です。社会全体の流れとして、建物性能の一層の向上は不可避(WHOの勧告基準に満たない温熱環境は児童生徒職員の健康に直結する)とりあえずの耐震や温熱環境で今後30年の建物を建てるのは投資として意味のないものとならないか。この点においては時間をかけて考えるべきだと思います。(坂の上・30)</p>
賛成	<p>どんどん少子高齢化のスピードが上がって来ている為(美南・40)</p> <p>学校によって人数がかたよりにすぎているから。(美南・40)</p> <p>野岸と坂の上は距離も近いので統合してもいいのではと思っていました。また古い小学校が多いため、新しくしてほしいから。(美南・30)</p> <p>先延ばしにしても児童が増えるとは思えないので、速やかに進めたほうが良いと思う(東・30)</p> <p>校舎新築等の整備を必要とせず、運用等の変更のみで併設型一貫校が実現できるなら速やかに進めるべき。 一方で、立地適正化計画を策定した小諸市において、居住誘導区域内にある小学校を廃止して誘導区域外に小中学校を新築することは、誘導区域外への誘導施策にほかならない。住宅の主な購買層は30~40代の子育て世代で、学校の立地は重要な選考基準。量から質へと社会情勢が変化し、耐久性と高い環境性能が住宅に求められる中、子育て世代の住宅への投資や需要が誘導区域外に向かえば良質な住宅ストックの形成は不可能。マイカー利用が前提となって久しい地方において生活圏内に民間投資の集中する佐久平があり、通常でも複雑な土地の区画や権利関係等ハードルの高い中心市街地に、区画整理の避けられない上質な都市空間と集合住宅を誘導してまちなか居住を推進していくには相当の求心力が必要。 今以上の住宅投資を誘導区域内に促すためにも、誘導区域外にある水明小と芦原中の併設型学校としての土地利用はあくまで暫定的なものであること、立地適正化計画を考慮した公共施設群の再配置に合わせて新設校の立地を決めることを明示する必要がある。(坂の上・30)</p> <p>どんどん子供の数が減っているから(坂の上・40)</p> <p>人数が少ない中、中学校に行き人数が極端に増え、環境に馴染めない可能性があるため。また、多くの人との意見交換の場が少なくなる。(坂の上・30)</p> <p>どの校舎も古過ぎます。昔と違って夏場の室内の気温上昇における子供達の熱中症も心配です。先生方もきっと新しい教室の方がモチベーションも上がると思います。今の時代に合った教室作りをして欲しいです。(水明・40)</p> <p>学校全体のカリキュラムから見直す新たな時代に合わせた形の学校再編を望みます。(水明・30)</p>
どちらかといえば賛成	<p>小学校の校舎が古くなっており、建て替えが急務と思われるから。(東・40)</p> <p>校舎の老朽化が進むので、子供たちには新しい校舎で勉強させてあげたい。(水明・30)</p> <p>各校の状況にもよるが、学校補修などもしているので段階的に編成してほしい(千曲・30)</p> <p>学校の老朽化などがある為、安全を考慮していただきたい(美南・30)</p>

<p>どちらともいえない</p>	<p>自分たちにメリットがあるか不明(東・40)                  少人数化で専科の教員を配置できないと理由の一つに挙げていたが、その分を市の負担で雇う事は不可能なのか？例えば昨年まで某小学校にいた理科の専科教諭では、児童の理科離れが加速して、居ない方がマシだと多くの児童とその保護者は考えていた。千曲小などは長年小規模で放置されてきたのだから、今更一緒になっても、それまで卒業してきた児童は十分な教育機会や環境を提供されていなかったという事になるのではないかと。(坂の上・40)</p> <p>急がなくてもよいので、しっかりとやって欲しい(坂の上・30)                  統合時には、児童数が一気に増えるので、人数が増えることで、一人一人に対するきめ細かな教育がされるのか不安であるため。(野岸・30)                  子供がいるうちは、今のままでいい(野岸・40)</p>
<p>どちらかといえば反対</p>	<p>各学校1クラスになってからではどうなのか。(水明・30)                  学校をどこにするのか？無料バス等出るのか？今ある学校をどうするのか？そこを決めてからでいいと思う(東・40)                  学校が遠くなることによって、毎日の通学が不安。特に、子供の人数が少ない地域の為、スクールバスが家の近くまで来てくれるのか、それともある程度子供の多い地区の乗り場まで保護者が毎日送迎するのか。それならスクールバスの意味がない。現実的な所まで万全を期してから進めてもらいたい。(千曲・30)</p>
<p>反対</p>	<p>子供の数が1クラス位になったら統合してもらいたい。東と野岸はそうしてもらいたい。(東・40)                  小規模校化が専科教員不足を招くとあるが、小学校において専科教員を増やすメリットより生徒数が増える事のデメリットの方が多いと考える。生徒数の増加は教員の労働負担の増加ははもちろん、一人ひとりの生徒と向き合った教育や多様性の維持が難しくなり教育の質は落ちる事になる。私の子供時代は小学校でも800人以上の生徒がおり、1クラスで40人を超えていた。人数が多すぎて色々な教科で順番待ちが常にあり効率も教育の質も悪かった。また、統合すると言う事は当然学区も広くなり送迎等の親の負担も増加する。コロナ禍で景気も悪く色々な負担が増えているなかで統合を進めるのはデメリットの方が高く、また生徒数が増加するということは集団感染のリスクも上がる事と言う事である。ソーシャルディスタンスの観点からしても統合は進めるべきではない。(千曲・40)</p> <p>準備期間に十分な時間が必要！(千曲・40)                  小学校の再編より、もっと他に組み込まなくてはいけないことがあると思う。小学校を再編したところで、この子育てしにくい小諸市でなんのメリットがあるのか。まずは、子育てしやすい環境、子供を産みやすい環境を整えるべき。小諸に生まれ、小諸で育ち、今は小諸で子育てをしているが、小諸市の中だけでは生活はできない。(東・30)</p> <p>・生徒が増えれば先生の目が行き届かなくなるのではないかと。                  ・学校まで遠くなる子はバスになるのか？                  小中は体力強化的問題等からも歩いて登下校してほしい。(東・30)</p> <p>バス通学も大変だし、学校の行事で運動会とか全校の親が来る場合狭くて大変そう。野岸は校庭が狭く感じる。子供の数がすごい減って1クラス位の人数になったら統合とかなら問題ないと思う。(東・30)</p> <p>もっと人口が減ってからで良いと思う。せっかく通学路を歩くことで体力がつくのに、スクールバスになってしたら、体力がつかず、その子が小諸で今後生きていくのに、体力がなければこの坂の街小諸を生き抜けない。体力がないことを理由に、みんな小諸を離れていってしまう。(坂の上・30)</p> <p>今までもアンケート等を行い民主主義で行政を進めてきていたので、市民の声を反映させるべき。(水明・40)                  現実、小諸市が住みにくく、市外に出てしまう若い世代が増えて居ます。小諸市が住みやすい街になり、利便性も良くなって子供がいる世帯が住みやすい環境づくりを考えて頂きたいです。(千曲・40)</p>



## 8 その他学校再編に関して意見・感想

統合するのは賛成だが、それに伴い学校が遠くなる家庭もあると思うので、その様な場合は通学バス等を出すようにした方がより良いと思う。(東・20)
再編に伴い通学が困難になる恐れがある。スクールバスを出して欲しい。(美南・40)
統合するにあたってはスクールバスを検討してもいいと思います。(野岸・40)
スクールバスなどの運行がこれからなされるのかなどこれからの課題(野岸・50)
スクールバスは体力の低下を招くと思われるので反対です(坂の上・40)
スクールバスは反対。自分も小諸で育ったが、登下校でこの特色ある坂道を歩くことで体力がついたのでとても感謝している。まず小諸市が行うべきは、特別支援の先生の増員、加配の先生の増員、養護教諭の増員、心の相談員のような先生の配置。教育現場は疲弊している。小さな学校できめ細やかに児童生徒に対応したいのに、心の問題を抱えた子が多く、人数が多い学校となればすべての問題に対応しきれません。個々の子供たちの実態をまずは知ってください。学校の実態を知ってください。お願いします。(坂の上・30)
野岸・東小を統合した際に、東中学の近くに新校舎を建てるという噂を聞いたのですが、野岸小は数年前に、校舎の半分を新築したので、新たな場所へ新校舎を新築するのではなく、野岸小の残りの古い校舎(北側校舎)を、統合した人数に見合う校舎に建て替えるなど、既存の施設を有効活用してほしい。 また学区の拡大により、スクールバスなど大きい車の出入りが多くなると思われるので、学校周辺の道路環境を整備して安全に子供たちが過ごせるように配慮してほしい(小諸は狭い道なども多いので)。(野岸・30)
児童が登下校中に事故や事件にまきこまれることがないように、安全な通学路確保はもちろんのこと、スクールバスをもっと短い距離から導入したり、家族による車で送迎が安全にできるように、学校まわりを整備してほしい。 教員の数を増やして、学級担任を2人にするなど、先生方の負担を減らして、児童にむきあったり、授業準備する時間が十分にとれるようになってほしい。複数でクラスをうけもつことで、教師に何かあったときの急な担任の不在も防げるし、児童としても、色々な価値観に触れることができ、メリットが多いと思う。また教師による、児童に対する犯罪や体罰の防止にもなると思う。(美南・30)
学校が統合した際の小学校の学区外通学希望者、もしくは、すでに学区外通学を利用している人達への影響はあるのでしょうか??それぞれ家庭の都合等もあるから出来れば影響が無い方が望ましい。(野岸・30)
将来的にならしょうがない。速やかに進めるなら、新1年生の来入見からにしてもらいたい。今の生徒はそのまま卒業させて貰いたいと思います。(東・40)
今後の小学校へ進学する親御様への案内がなければ、この資料を配布しては? (美南・30)
子供や親の事を一番に考え、意見を取り入れながら、何が出来るのか広い視野を持って慎重かつスピーディーに進めて頂きたい。(水明・40)
早急に進めれば良いと思います(美南・30)
コロナの状況の中、小規模校ではできることが大規模校ではできず子供たちは我慢してきた面もある。規模の大小に関わらず、どの児童も平等に教育受け、色々な経験ができるような学校再編にしてほしい。(美南・40)
民間での水泳授業について、気候変動による天候不順や熱中症リスク増、紫外線への評価が年々厳しくなる中で高所である当地の紫外線量を考えると、今後の学校施設において屋内プール化は避けられない流れ。教員負担や地域経済を考えても小諸市に本社を置く民間企業との協力は良い試み。 しかし、参考にある御影新田の施設は隣接する佐久市や御代田町からの需要が多く民間で経営が成立し、小諸市外からの経済の取り込みにも貢献。御代田や佐久平エリアは今後の人口も堅調に推移し、モノの所有からコトの消費へと社会の需要が変化の中でフィットネス分野は成長産業。経営圧迫は企業と市双方にとっての損失で、施設の立地も都市計画中心から離れており公の利用は佐久平への求心力に繋がりにDID空洞化を加速させるだけでなく、往復の移動や準備の時間を考慮すると美南ガ丘小以外の利用は非現実的。 一方で、市内には公営の屋内プールが存在せず、佐久・東御市等の近隣の自治体に車で通う必要がある。小中一貫校並びに高校の学校再編による跡地利用と合わせ学校毎のプール設備を廃止し、これらの学校や市民が利用する屋内プールを都市機能誘導区域内に一か所整備し、管理運営を民間委託することを提案。 人口減と高齢化に合わせ宅地や農地等の土地利用を集約効率化しながらも生活の質と豊かさの維持向上を図らなければならない中で、誘導区域には強い求心力が不可欠だが、現時点で民間の住宅投資に然したる変化は見られず区域外の規制もできないため、周辺にプラスの影響を与え民間に再投資を促す誘導施策が必要。 日本社会が成熟化し都市空間が車から人中心の場所へと変化する昨今、ウォーカーブル推進都市に名を連ねる小諸市において、医療や公共交通等の地域社会インフラが持続可能な人口密度を保つためには、徒歩を基本に誰もが利用しやすい立地への公共施設群の配置集約化は必須で、民間の再投資にも影響を与えると考える。現在の総合体育館や文化センター等は交通弱者を排除した車前提の立地にあり、施設に目的意識がなければ行かない場所にあるために多様な機会を喪失しており周辺への経済効果も弱い。屋内プール施設と旧時代の社会状況で配置された公共施設群の更新を効果的に立地適正化計画に沿って配置し直し、点ではなく面で価値向上を目指す文教地区のような地価水準の高いエリアを創出することが自主財源の安定的化と持続可能性に不可欠。(坂の上・30)

<p>再編において必須である校舎の新築改築に関して、長野県ゼロカーボン戦略では地方分権及び経済とエネルギー自立化という観点から高レベルの建物環境性能を必須とし、地域のモデルとなる公共建築には環境先進国並の燃費性能が要求される事になります。国や地方自治体における環境政策がより厳しいレベルを求めるのは確実で、実効性を高めるには住民の理解と協力が不可欠。従来の我慢と忍耐に頼った省エネ認識では不可能ですが、</p> <p>◎学校そのものを省エネかつ快適な空間とする事で将来世代に日常的に学び理解する場を提供できる。</p> <p>◎学校校舎の建物燃費性能の強化は、災害時の避難所としての機能強化にも繋がる。</p> <p>◎設計施工に地域の企業が関わる事で、環境共生社会における競争力への投資にも繋がる。</p> <p>低炭素社会実現に非常に強力な投資なので、既にEUで義務化のZEBに留まらず、50年先を見据えたパッシブハウス基準で学校校舎は計画すべきです。</p> <p>建築費用は相応に高額化し、欧米並みの長期的広域的な視点で建物の評価が必要なので、街のつくりから将来を見据えた計画が必須です。「学校教育の形」というソフト面については現行制度の中で最大限活用する他はなく、教育環境は30年で随分と変化するので30年後の想定に疑問はありません。ですが、「校舎の新築」はその建物が役目を終えるまでの期間、施設周辺だけでなく自治体全体の土地利用計画に影響を与え続けます。</p> <p>リソースに余裕のない地方の自治体にとって最大規模の投資となる公共事業は一つとして無駄にはできず、50年先の街のビジョン、公共施設の再配置等の土地利用の将来像を踏まえて決定する必要があるはず。</p> <p>30年での計画では民間側に計画の将来性に対する不信を抱かせ投資意欲を削ぐ結果に繋がりがかねません。今後の学校教育に求められる多様性ある地域コミュニティでの学びを考慮しても、将来にわたり都市機能を維持し、一定の人口密度が求められる立地適正化計画内に人を誘導する努力を最大限行う必要があります。</p> <p>小中学校の改築・再編計画の策定は、都市計画というハード面の内容と合わせて成立するものです。計画の各段階において順を追ってなされるものと理解しますが、改めて学校再編と都市計画や土地利用の資料を市民に提示し、まちづくりの将来像の共有のもと、ハード面の議論と意見交換を行う機会を設けてください。(坂の上・30)</p>
<p>古城、荒町、八幡町の併合先は、現状で判断せず、例えば5年後の状況を見て判断しても良いと思う。後者2町はその頃児童が居ない可能性もある。八幡町は居住実態のない児童も今回の資料にはカウントされている。</p> <p>税制その他を優遇して私立小学校を誘致してもいいと思う。軽井沢や佐久穂には来たのだから、小諸にも頑張って欲しい。</p> <p>そもそも統合以前に教育環境で改善すべき点が沢山あると思うので、小中一貫校を作れば状況が改善されるというような妄想に囚われないで欲しい。</p> <p>市職員の皆様は一生懸命頑張って下さっているの、良い方向に進む事を祈っています。(坂の上・40)</p>
<p>少子化なので、適正な規模で学校運営していただくのが良いと思います。学区の見直しや、校舎新設および旧校舎の活用についても検討をお願いします(東・30)</p>
<p>現在の各校舎は取り壊すことなく、災害時の避難場所の確保や、商業的な活用などに役立てるようにして母校の存在を無くさないでほしい(千曲・30)</p>
<p>人数が減ってきている中確かに一緒にした方がいいのは分かっているけど、建物跡の使い道とか考えて欲しい。</p> <p>体育館が減るのは運動している子供、親にとっても練習場所がなくなる。(東・40)</p>
<p>学校と地域が相互に連携・協働する組織づくりは、ぜひ進めていただきたいと思いました。</p> <p>保護者として、地域の携にも子どもの成長を見守っていただければ心強いです。</p> <p>また、学校が地域の元気な高齢者等の社会参加の場となれば、『支える』『支えられる』という関係を越え、子どもも、地域の方も自己肯定感を得られたり、地域共生社会が実現できるのではと思います。(美南・40)</p>
<p>親心として水明小の建物の老朽化が気になります…。その前に、なぜ児童数の減少を心配する前に若い世帯を小諸に増やそうとしないのですか？こもロッジにばかり、病床保育園にばかり、そこにお金をかける前に尚更子供の数が減っている一方で作る意味がありますか？もう建ってしまったので、より一層子育てに優しい小諸市で県外県内からの移住を増やす努力をして欲しいです。なんか移住してきても歓迎ムードが全く感じられないんですね。住民の皆さんは良い人ばかりなのに…。(水明・40)</p>
<p>市の方は給食の外部委託化を進めたいようだが、他市町村で外部委託になってから給食の質が落ちたり、食品管理の甘さから大人数の食中毒事故など増えているとの話があるので、小諸の誇れる自校給食を市の直轄で続けてほしい。(東・40)</p>
<p>小学校の悲惨な現状を把握し早急に対応すべき。優秀な人材が流出する悪循環が続いている。睡眠よりも大きな問題があります。(野岸・40)</p>
<p>大人は自分の思い出よりも未来の子供たちの学校生活を大切にすべきである。(坂の上・40)</p>
<p>簡単に決めないでほしい。こどもの為に(千曲・40)</p>
<p>教育審議会の議事概要を半分ほど読ませていただきました。委員のみなさま全員の大変なご努力や熱意を感じました。</p> <p>学校再編と小中一貫教育を早期に実行に移し委員のみなさまが元気なうちにその結果をご自身の目でたしかめていただきたいです。小諸市民一人一人がこれからの教育にもっと監視をもたなければと自覚しました。(野岸・50)</p>
<p>学校によって、それぞれの色は必要だと思いますが、色々な教育の差がないようにして欲しいと思います。(美南・40)</p>
<p>学校の前にもっと佐久のように小諸で暮らしたいと思うように地域づくりをするべきでは？(水明・30)</p>
<p>再編とは関係ないかもしれないが</p> <p>オリンピックの時に新幹線が通らなくなり、そこから過疎化が進んでいると思う。佐久市との人口差は大きいし、ショッピングセンターがないのが寂しい。地形的に坂の多い町ではあるが文化を大切にしている住みやすいと思う。コンパクトシティ構想は良いことだと思うが市民全体が住み良い町にするためにアイデアを出しあったり何かできないのか。(野岸・40)</p>